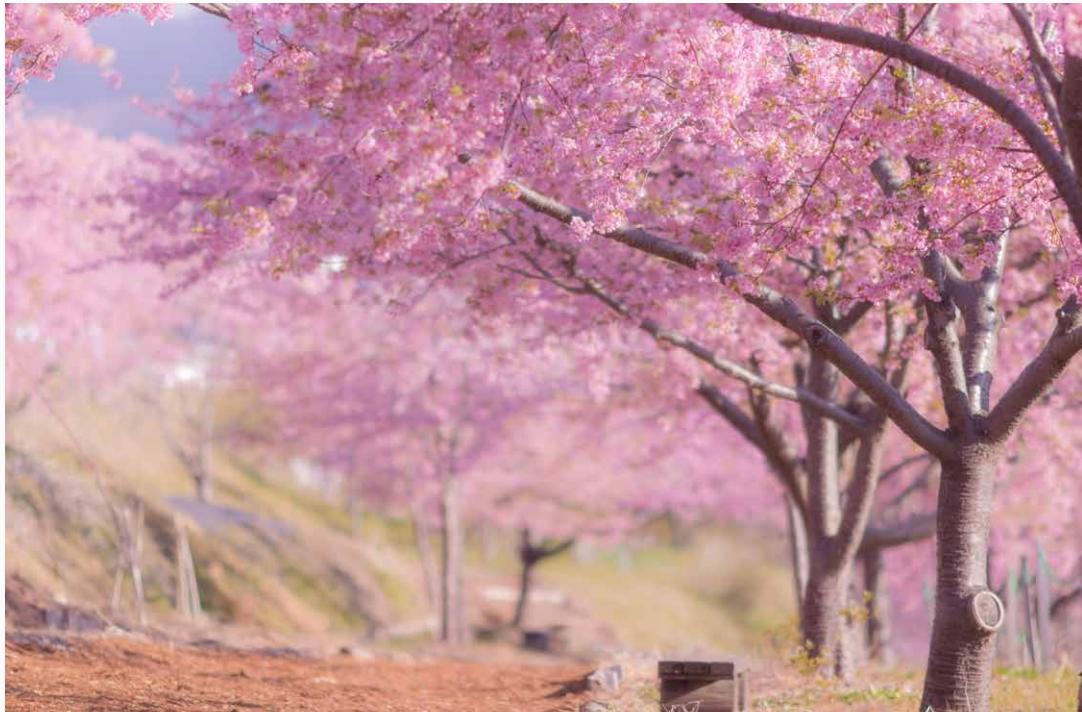


# 会報 あかぎ



白井宿(渋川市)



ミツマタ群生地公園(桐生市)



前橋公園(前橋市)

令和8年1月16日

第195号



群馬土地家屋調査士会



## 土地家屋調査士倫理綱領

### 1. 使命

不動産に係る権利の明確化を期し、  
国民の信頼に応える。

### 2. 公正

品位を保持し、公正な立場で  
誠実に業務を行う。

### 3. 研鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

## もくじ

・新年のご挨拶	前橋地方法務局長 玉井由紀江 様	1
・年頭のご挨拶	群馬土地家屋調査士会長 新井清史	2
・会務報告		3
・会議報告		5
・会員へ発信した主な文書		11
・会員動向 ・新入会員紹介		13
・報告		
第1期（令和7年度）土地家屋調査士年次研修		14
出前授業 東和銀行		15
令和7年度群馬境界実務連絡協議会		16
令和7年度 第1回本会・協会合同会員(社員)研修会		17
名誉会長・顧問等会議及び本会・協会合同常任理事会		18
デジタルサイネージへの掲示		19
司・調合同新年賀詞交歓会		20
四県連絡協議会		21
四県合同財産管理人養成講座		22
関プロ「財務・研修・広報担当者会同」		23
第3回三士会ゴルフコンペ		
大規模災害対策基金募金		24
支部研修活動・無料登記相談会		25
・会員のひろば		
東京会「令和7年度第1回会員研修会」に参加して思ったこと		26
14年前に造ったペーパークラフトのバイクが動き出した！		28
・お知らせ		
令和7年度 第2回本会・協会合同会員(社員)研修会		29
第82回(令和8年度)定時総会		

# 新年のご挨拶



前橋地方法務局長

玉井由紀江

明けましておめでとうございます。

群馬土地家屋調査士会の会員の皆様に、謹んで新年のお祝いを申し上げます。また、貴会並びに会員の皆様には、平素から登記を始めとする法務行政の円滑な運営に格別なる御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年6月6日に開催された所有者不明土地等対策の推進のための関係閣僚会議において、「所有者不明土地等対策の推進に関する基本方針」が改定され、いわゆる「骨太の方針2025」においては、この基本方針に基づき、所有者不明土地等対策を推進することが、引き続き明記されました。

この基本方針には、既に施行されている相続土地国庫帰属制度、長期相続登記等未了土地及び表題部所有者不明土地の解消事業の推進や、相続登記及び住所等変更登記の申請義務化の対応などが掲げられていることに加え、土地に関する重要な情報基盤である登記所備付地図についても、新整備計画を踏まえ整備を加速化することなどが掲げられています。

当局では、平成17年度から実施している筆界特定事務及び令和元年度から実施している表題部所有者不明土地の解消事業において、多数の会員の皆様に委員として御尽力いただいており、おかげさまで両施策ともに順調に進んでいます。

また、法務局地図作成事業についても、骨太の方針に盛り込まれ、引き続き、政府の重要施策として位置付けられています。当局管内の地図作成作業は、会員の方々を社員として構成されている公益社団法人群馬県公共嘱託登記土地家屋調査士協会に委託し、計画どおりに作業が進んでいます。

近年は、全国的に大きな自然災害が発生しており、不測の事態に備えるためにも地図整備を確実に進めていく必要があります。

法務局における表示登記を始めとした重要施策が円滑に進められ、運用していくためには、法務局と土地家屋調査士の皆様との連携が不可欠です。本年も引き続き御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

最後に、土地家屋調査士の皆様の御多幸、御活躍と群馬土地家屋調査士会の更なる御発展を祈念いたしまして、私からの新年の挨拶とさせていただきます。



## 年頭のご挨拶



群馬土地家屋調査士会  
会長 新井 清史

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さんにおかれましては、健やかに新春を迎えたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年5月の定時総会におきまして、新たな執行部が始動いたしました。就任以来、会務運営に対し、深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の世相を振り返りますと、政治・経済・社会の各分野において、大きな変化が相次いだ一年がありました。政界においては石破政権の退陣、高市氏の女性初総理就任、自民党と日本維新の会による連立政権の発足など、従来の枠組みを超えた動きが見られました。経済面では、物価高が国民生活や事業経営に影響を与える一方、賃金アップの動きが広がり、社会全体が新たな均衡を模索する状況が続いているです。

また、全国各地で相次いだ熊の出没は、自然環境の変化と人の生活圏との関係性について、改めて考えさせられる出来事でした。加えて、生成AIの急速な普及は、社会構造や働き方のみならず、私たち土地家屋調査士の業務の在り方にも大きな影響を与えることは必須です。業務効率化や情報活用の可能性が広がる一方で、専門家としての判断力や倫理観、対面による信頼関係の重要性が、一層問われることになると思われます。

このような中、本会においては、会員の皆さまのご理解とご協力を賜り、昨年10月からの会費増額改定により、当面の間は安定的な財政推移を確保できる見通しとなりました。健全な財政基盤は会務運営の安定の中枢で、研修や広報活動の充実、将来を見据えた事業展開の礎となるものであり、深く感謝申し上げます。

所有者不明土地問題に起因する法制度の面では、令和5年の民法改正、相続登記の義務化などに始まり、

今年4月に施行される住所変更登記の義務化をもって、一つの節目を迎えます。この制度改革で創設された所有者不明土地管理制度において、土地家屋調査士が司法機関から管理人として選任されることは、専門性と社会的使命を社会に示す大きな機会となります。本会といたしましても、行政機関や司法機関に対して、我々土地家屋調査士が管理人として選任されるべく積極的な啓発活動を行ってまいりました。土地家屋調査士が新たな制度に参入できる貴重な機会であり、社会的評価向上のためにも、これからも継続していきたいと思います。

また、所有者不明関連では、建物の未登録問題も見逃すことはできません。土地家屋調査士の業務である建物表題登記は、申請義務があることを、改めて全国発信するよう声を上げたいと考えています。

近年、「norm（ノルム）」と呼ばれる社会的共通認識は大きく変化しています。ジェンダー平等・働き方・環境意識などが挙げられます。そして専門家に求められる責任のあり方も、決して例外ではありません。私たち土地家屋調査士は、適正な業務を遂行し、その対価として、物価高や賃金アップ等市場の状況やトレンドに従った、適正な報酬を受領していくことが必要です。そのためには社会から信頼され続ける専門職として、誠実さと不断の努力を重ねていかなければなりません。

結びに、令和8年が穏やかな社会となり、会員の皆さまが誇りを持って職務に取り組み、ご家族や補助者の皆さまにとって心豊かな暮らしとなることを心より祈念申し上げます。本年も群馬土地家屋調査士会の円滑な運営に、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。



# 会務報告

令和7年7月28日～令和8年1月16日

月	日	用 務	開催場所	出席者
7	28	関プロ 第3回会長会議	東京会	新井会長
	30	センター 受付面談	調査士会	相談員2名
	31	第3回常任理事会	調査士会	新井会長他8名
8	6	前橋工科大 堤准教授へのご挨拶 登録証交付式（高崎：櫻井宏之会員） センター 受付面談	前橋工科大学 調査士会 調査士会	新井会長、関副会長 新井会長、関副会長 相談員2名
	8	群馬境界実務連絡協議会第2回運営委員会 東京会主催「役員及び綱紀委員を対象とした綱紀事案等の対応に関する研修会」	調査士会 東京会	堀越委員長他5名 中村綱紀委員長他2名
	18	群馬県立前橋工業高等学校へご挨拶	前橋工業高等学校	関副会長、井上常任理事
	20	センター 受付面談	調査士会	相談員2名
	21	群馬県知事との面談事前打ち合わせ	調査士会	新井会長、井上常任理事
	25	新裁判所長表敬訪問	前橋地方裁判所	新井会長他3名
	27	群馬県知事との面談	群馬県庁	新井会長、井上常任理事
	9	埼玉会 第1回会員業務研修会	埼玉会館	徳江常任理事
	4	日調連 全国広報担当者向けセミナー（Web） 災害時における被災者等相談に関する協定に係る研修会（Web）	調査士会 各事務所	関副会長、井上常任理事 神山副会長、横田常任理事
9	5	群馬境界実務連絡協議会第3回運営委員会	調査士会	堀越委員長他5名
	6	第20回土地家屋調査士特別研修 考査	東京会	受講者3名
	8	第1回紛議調停委員会（R7-1） 登録証交付式（伊勢崎：齋藤朋樹会員）	調査士会 調査士会	神山委員長他3名 新井会長他2名
	11	第4回常任理事会	調査士会	新井会長他8名
	18	第1期（令和7年度）年次研修	調査士会	受講者13名
	21	日調連 全国広報担当者向けセミナー（Web）	調査士会	関副会長、井上常任理事
	24	日調連 新人研修	東京ドームホテル	受講者11名
	24	センター 第4回運営小委員会	調査士会	伊藤センター長他5名
	26	センター 第4回運営委員会	調査士会	伊藤センター長他8名（内弁護士3名）
10	26	群馬境界実務連絡協議会第4回運営委員会	調査士会	堀越委員長他5名
	28	四県連絡協議会（1泊）	栃木県「ホルサンバー那須」	新井会長他8名
	2	三者（法・司・調）事務打合せ会	法務局	新井会長他4名
	3	群馬境界実務連絡協議会開催に伴う打合せ 自民党政調懇談会	法務省民事二課 群馬県議会会議室	柳澤委員、徳江委員 新井会長
	7	日調連 第1回全国会長会議（1泊）	東京ドームホテル	新井会長
	14	第5回常任理事会	調査士会	新井会長他8名
	17	出前授業（東和銀行）	東和銀行職員研修所	新井会長他2名
	10	関プロ 親睦ゴルフ茨城大会	大洗ゴルフ俱楽部	参加者8名
	20	群馬境界実務連絡協議会第5回運営委員会	調査士会	堀越委員長他5名
10	22	センター 受付面談	調査士会	相談員2名
	24	四県合同財産管理人養成講座（実践編）	つくば国際会議場	参加者11名
	26	渋川市主催 空き家相談会	渋川市役所	渋川支部 角田監事
	28	法務局 実態調査	前橋地方法務局富岡支局	武藤常任理事他2名

(4)

月	日	用 務	開催場所	出席者
10	29	群馬境界実務連絡協議会	群馬県JAビル 大ホール	出席者119名
	31	元名誉顧問 星名渋川市長表敬訪問	渋川市役所	新井会長他4名
11	3	桐生支部 伊藤寛会員告別式<家族葬>	桐生斎場	受講者137名
	5	令和7年度第1回会員(社員)研修会<協会合同>	群馬県JAビル 大ホール	監事3名他
	11	令和7年度 第2回監査会	調査士会	新井会長他2名
		登録証交付式 (館林:鈴木英範会員)	調査士会	新井会長他8名
		第6回常任理事会	調査士会	井上常任理事他4名
	14	法務局 実態調査	前橋地方法務局	新井会長
	17	関プロ 第4回会長会議	東京会	太田常任理事他2名
		関プロ 財務・研修・広報各担当者会同	東京会	新井事務局長
	18	群馬県土業協議会令和7年度事務局打合せ会	IZAKAYA OHaRE	関副会長
	19	東京会 第1回会員研修会	なかのZERO	相談員2名
		センター 受付面談	調査士会	徳江委員
	21	山梨会 第5回境界問題連絡協議会	山梨県立文学館	新井会長他12名
	22	第3回三士会ゴルコンペ (当番会)	玉村ゴルフ場	相談員2名
	26	センター 受付面談	調査士会	伊藤センター長他6名
	26	センター 第5回運営小委員会	調査士会	伊藤センター長他8名(内弁護士2名)
		センター 第5回運営委員会	調査士会	
12	11	登記無料相談	電話対応	相談員1名
	12	第1期(令和7年度)年次研修	調査士会	受講者1名
	17	センター 受付面談	調査士会	相談員2名
	18	第7回常任理事会	ホテルグランピュ高崎	新井会長他8名
		名誉会長・顧問等会議及び本会・協会合同常任理事会	ホテルグランピュ高崎	新井会長他27名
	24	センター 受付面談	調査士会	相談員2名
令和8年				
1	6	新年挨拶回り	前橋地方法務局他	新井会長他4名
		群馬県議会新春交流会	群馬県庁 県民ホール	新井会長他4名
		上毛新聞社 新年交歓会	グリーンドーム前橋	新井会長
14		高崎支部 石川泉会員告別式参列	メモリアルホールしんまち	関副会長
		日調連 第2回全国会長会議(1泊)	東京ドームホテル	新井会長
		日調連 新年賀詞交歓会	東京ドームホテル	新井会長
15		税理士会 新春祝賀会	前橋商工会議所	関副会長
16		司・調合同新年賀詞交換会	ロイヤルオーバル前橋	出席者92名

# 会議報告

令和7年7月26日～令和8年1月16日

会議名	開催日時・会議内容等
<b>〔本会〕</b>	
第3回常任理事会	<p>令和7年7月31日(木) 13:30～ 調査士会</p> <p>議 題 (1) 第81回定期総会を受けての今後の対応について&lt;総務&gt;  (2) 地方裁判所訪問を終えての対応について&lt;研修・広報事業&gt;  (3) 四県連絡協議会の提出議題について  (4) 年次研修・会員研修会について&lt;研修&gt;  (5) 「県内市町村における境界確定業務の実務上取り扱いアンケート」  集計結果について&lt;業務&gt;  (6) 会則・諸規則等の変更について&lt;総務&gt;  (7) 三者(法・司・調)事務打合せ会について  (8) 3士会(行・司・調)ゴルフコンペ(当番会)の開催について&lt;財務&gt;  (9) 令和9年度 関プロゴルフ大会(当番会)の開催について&lt;財務&gt;  (10) 事務局のお盆休み(夏期休暇)について  (11) その他</p> <p>出席者 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田・太田・徳江・武藤・井上各常任理事</p>
群馬境界実務連絡協議会 第2回運営委員会	<p>令和7年8月8日(金) 15:00～ 調査士会</p> <p>報告事項 (1) 法務省民事二課への講師派遣要請の経過報告等</p> <p>議 題 (1) 協議会の内容について  (2) 開催案内文書の文案検討  (3) 開催案内文書送付先の確認  (4) その他</p> <p>出席者 堀越委員長、吉野副委員長、柳澤・徳江・小須田・伊藤各委員</p>
群馬境界実務連絡協議会 第3回運営委員会	<p>令和7年9月5日(金) 15:00～ 調査士会</p> <p>報告事項 (1) 法務省民事二課への講師派遣要請の経過報告等</p> <p>議 題 (1) 令和7年度境界実務連絡協議会の運営について  ①出席者状況確認、質問・要望等の回収状況確認  ②パネルディスカッションの運営について  (2) その他</p> <p>出席者 堀越委員長、吉野副委員長、柳澤・徳江・小須田・伊藤各委員</p>
第1回紛議調停委員会	<p>令和7年9月8日(月) 9:15～ 調査士会</p> <p>議 題 (1) 紛議調停の申立てについて  (2) その他</p> <p>出席者 神山委員長、横田副委員長、吉野・関各委員</p>
第4回常任理事会	<p>令和7年9月8日(月) 13:30～ 調査士会</p> <p>議 題 (1) 年次研修(R7.9/11開催)・会員研修(11/5開催)について  (2) 土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規程による調査について  (3) 三者(法・司・調)事務打合せ会の要望、協議事項について  (4) 政調懇談会重点要望事項について  (5) 四県合同財産管理人養成講座について(R7.10/24開催)  (6) 境界実務連絡協議会(R7.10/29開催)について  (7) 前橋工科大 堤研究室との連携について  (8) その他</p> <p>出席者 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田・太田・徳江・武藤・井上各常任理事</p>

会議名	開催日時・会議内容等
相談センター 第4回運営小委員会	令和7年9月24日(水) 15:30～ 調査士会
	議題 (1)相談案件の検討について (2)その他
	出席者 伊藤センター長、白川副センター長、小保方・徳江・五十木・大辻各運営委員
相談センター 第4回運営委員会	令和7年9月24日(水) 17:00～ 調査士会
	議題 (1)相談案件の検討について (2)その他
	出席者 [弁護士] 真庭副センター長、倉崎・飯野各運営委員 [調査士] 伊藤センター長、白川副センター長、小保方・徳江・五十木・大辻各運営委員
群馬境界実務連絡協議会 第4回運営委員会	令和7年9月26日(金) 15:00～ 調査士会
	議題 (1)令和7年度境界実務連絡協議会の運営について ①講師について (法務省民事局より2名派遣) ②出席者状況の確認、質問・要望等の確認 ③パネルディスカッションの運営について ④役割分担について (2)その他
	出席者 堀越委員長、吉野副委員長、柳澤・徳江・小須田・伊藤各委員
第4回理事会 (書面決議)	令和7年9月26日 *令和7年10月2日承認
	承認事項(1)「自民党県議団 大林裕子県議会議員」の名誉顧問の委嘱について
	出席者 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田・太田・徳江・武藤・井上各常任理事、酒井・黒田・須永・眞下・小保方・古澤・倉田若月・久保田・板垣各理事
第5回常任理事会	令和7年10月14日(火) 13:30～ 調査士会
	議題 (1)四県連絡協議会の協議結果について (2)三者事務打合せ会の要望・協議結果について (3)東和銀行出前授業 (R7.10.17)について (4)令和7年度群馬境界実務連絡協議会 (R7.10.29)について (5)令和7年度第1回会員研修 (R7.11.5)について (6)年次研修が未受講となる猶予者の対応について (7)監査日程について (8)その他
	出席者 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田・太田・徳江・武藤・井上各常任理事
群馬境界実務連絡協議会 第5回運営委員会	令和7年10月20日(月) 15:30～ 調査士会
	議題 (1)令和7年度境界実務連絡協議会の運営について確認 (2)その他
	出席者 堀越委員長、吉野副委員長、柳澤・徳江・小須田・伊藤各委員
第6回常任理事会	令和7年11月11日(火) 13:30～ 調査士会
	議題 (1)賀詞交歓会について (2)名誉会長・顧問・相談役会議について (3)東和銀行出前授業・境界実務連絡協議会・会員研修会の振り返り (3)各部の現状と今後の事業確認 (4)その他
	出席者 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田・太田・徳江・武藤・井上各常任理事

会議名	開催日時・会議内容等
相談センター 第5回運営小委員会	令和7年11月26日(水) 15:30～ 調査士会 議 題 (1)相談案件の検討について (2)その他 出席者 伊藤センター長、白川副センター長、小保方・徳江・五十木・大辻・古澤各運営委員
相談センター 第5回運営委員会	令和7年11月26日(水) 17:00～ 調査士会 議 題 (1)相談案件の検討について (2)その他 出席者 〔弁護士〕眞庭副センター長、飯野運営委員 〔調査士〕伊藤センター長、白川副センター長、小保方・徳江・五十木・大辻・古澤各運営委員
第7回常任理事会	令和7年12月18日(木) 14:00～ ホルグランビューハイ崎 議 題 (1)名誉会長・顧問・相談役会議について (2)新年あいさつ回りについて (3)新年賀詞交歓会について(進行・役割分担) (4)群馬県士業協議会定例会について(新井・神山・事務局長出席) (5)群馬会新入会員研修会・第2回会員研修会及び来年度(第2期) 年次研修について (6)桐生支部会員からの要望事項について (7)関ゴルフ群馬大会(令和9年度)実行委員会立ち上げについて (8)その他 出席者 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田・太田・徳江・武藤・井上各常任理事
名誉会長・顧問等会議及び 本会・協会合同常任理事会	令和7年12月18日(木) 16:15～ ホルグランビューハイ崎 議 題 (1)今年度の事業執行について (2)その他 出席者 〔本会〕横田・萩原各名誉会長、渡辺・堀越・佐藤各顧問、柳澤・吉井・表野・齋藤各相談役 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田・太田・徳江・武藤・井上各常任理事 〔協会〕黒澤・小池各相談役、須田理事長、岡本・小須田各副理事長、樋口・吉野・中山各常任理事
<b>〔日調連〕</b>	
第1回全国会長会議	令和7年10月7日(火)、8日(水) 13:30～ 東京ドームホテル 議 題 (1)各部等事業計画の実施状況と今後の取組の説明 (2)連合会が取り組んでいる事項等の説明 ①土地家屋調査士会会則モデルの改正及び同逐条解説集の改定について ②専門的賠償責任保険の対象者の見直しについて ③宅地建物取引士が説明する重要事項についての書面の記載内容について ④令和8年度以降の新人研修における各ブロック協議会に委託する際の運営方法等について (3)グループ討論 (4)意見交換・情報交換 出席者 新井会長

会議名	開催日時・会議内容等
<b>【関ブロ】</b>	
第3回会長会議	<p>令和7年7月28日(月) 15:00～ 東京会</p> <p>協議事項(1)副会長の職務代行順位及び業務分掌について            (2)第71回定例総会における要望事項について            (3)第72回定例総会の開催日程等について            (4)令和7年度担当者会同について            (5)新人研修の実施に向けた対応について            (6)管内各調査士会における会費について            (7)連合会「広報員」候補者の推薦について</p> <p>出席者 新井会長</p>
第4回会長会議	<p>令和7年11月17日(月) 11:00～ 東京会</p> <p>協議事項(1)第73回(令和9年)定例総会の開催時期等について            (2)ブロック新人研修の運営について            (3)第21回土地家屋調査士特別研修の会場について            (4)親睦事業の拡大について            (5)各調査士会における寄附講座及びガイダンスの実施状況について            (6)その他</p> <p>出席者 新井会長</p>
財務担当者会同	<p>令和7年11月17日(月) 14:00～ 東京会</p> <p>協議事項(1)様式の有無について            (2)福利厚生について            (3)支部への補助金について            (4)支部からの会計報告について            (5)日当等の処理方法について            (6)会館管理について            (7)通知方法について            (8)会費について            (9)その他</p> <p>出席者 太田常任理事</p>
研修担当者会同	<p>令和7年11月17日(月) 14:00～ 東京会</p> <p>協議事項(1)関東ブロック協議会新人研修について            (2)年次研修について            (3)単位会における新人研修会について            (4)単位会における研修会について            (5)その他</p> <p>出席者 武藤常任理事</p>
広報担当者会同	<p>令和7年11月17日(月) 14:00～ 東京会</p> <p>協議事項(1)広報媒体の管理・運用について            (2)新しい広報手法・ツールの活用について            (3)出前授業・寄附講座など教育広報活動について            (4)社会貢献事業・地域PR活動について            (5)他士業との連携について            (6)広報グッズ・教材の活用について            (7)その他</p> <p>出席者 井上常任理事</p>

会議名	開催日時・会議内容等
<b>【その他】</b>	
四県連絡協議会	<p>令和7年9月28日(日)、29日(月) 13:30～ 栃木県：ホテルサンバレー那須</p> <p>協議事項</p> <p>正副会長(1)総会におけるオンライン対応について(群馬会)  (2)マナブルの利用状況について(群馬会)  (3)災害時の会員支援体制について(群馬会)  (4)総会の議事運営規則の有無について(群馬会)  (5)会員数の増減のシミュレーション手段について(茨城会)  会費値上げ状況及び今後の事業計画について(埼玉会)  (6)年次研修の総括(茨城会)  年次研修未受講者に対する処分について(埼玉会)  年次研修未受講者への各単位会の指導について(栃木会)  (7)事務局体制について(茨城会)  (8)四県会議の今後のあり方について(栃木会)</p> <p>総務部(1)役員の立候補について(群馬会)  (2)実務経験のない新人調査士のサポート体制について(群馬会)  (3)連合会からの通達等各会員への情報発信方法について(茨城会)  (4)研修会、総会等に長年出席していない会員の動静の把握について(茨城会)  (5)苦情相談に対する対応方法について(埼玉会)  (6)使用済みの職務上請求書の取り扱い内容について(埼玉会)  (7)事務局との連携や定期的な面談について(埼玉会)  (8)事務局職員の給料について(栃木会)  (9)内部通報に関する規定の設置について(栃木会)</p> <p>財務部(1)昨今の物価高騰を要因の一つとする会費値上げについての  議論(群馬会)  会費値上げの対応(茨城会)  比例会費の件(栃木会)  (2)適正な予算執行の検討(群馬会)  (3)事務局の負担削減(群馬会)  (4)会員増への取り組みについて(茨城会)  (5)親睦や福利厚生を目的とした補助金・助成金について(埼玉会)  (6)単位会の支部交付金の支払い金額について及び各支部から  その使途内容の提出まで受けているのかを聞きたい(埼玉会)  (7)単位会内の各支部間での協議連絡に関する補助金が有るのか  どうかあればその状況を聞きたい(埼玉会)  (8)財務部と各担当部会との予算等調整について(栃木会)</p> <p>業務部(1)県内における境界立会のやり方について、市町村ごとに違いがあるか(群馬会)  (2)土地家屋調査士から法務局への照会について(茨城会)  (3)相続国庫帰属承認申請の測量図作成の依頼に際し、境界杭の  確認についてどのように対応すべきか(埼玉会)  (4)令和7年5月15日付け日調連発第33号通知(街区基準点の活用について)への対応状況について(栃木会)  (5)オンライン申請推進のための取組とせの効果について(栃木会)  (6)その他の情報交換</p>

会議名	開催日時・会議内容等
四県連絡協議会	<p>研修部(1)各種研修内容の選定について(群馬会)</p> <p>(2)日調連の新人研修について(群馬会)</p> <p>(3)不在者財産管理人養成講座(10月24日開催)について(茨城会)</p> <p>(4)単位会での新人研修はどのような内容で行っていますか (埼玉会)</p> <p>(5)会員業務研修会での出席率の良かったテーマは何ですか (埼玉会)</p> <p>(6)会員業務研修会後にアンケートはされておりますか。やり方、その内容、質問を受けた時の回答の仕方等ありましたら教えてください(栃木会)</p> <p>(7)研修会場を選択する場合、何を重視されていますか。会員数以上の席数を必要としていますか。(埼玉会)</p> <p>(8)研修会場から遠い事務所の先生(支部)はどうしても出席率が思わしくない場合が多くなってしまいがちですが、それに対して何かケア等されていますか。(埼玉会)</p> <p>(9)年次研修欠席者への対応はどのようにされていますか(埼玉会)</p> <p>年次研修の未受講者の人数と注意勧告までした方はどのくらいいらっしゃいますか(埼玉会)</p> <p>(10)会員研修会の有料化についてどう思いますか(栃木会)</p> <p>(11)今後の不在者財産管理人養成講座について(栃木会)</p> <p>広報部(1)出前授業はどんなところへ、どういった授業をされているか (群馬会)</p> <p>(2)広報活動の予算はどのくらいで行っているのか(群馬会)</p> <p>(3)会員向けの情報で工夫していることはあるか(群馬会)</p> <p>(4)各県独自のポスターもしくはパンフレットなど作成したことはありますか?(茨城会)</p> <p>(5)インターチップを行っていますか?行っているならそれを県内の学生達に広報している状況をしりたい(茨城会)</p> <p>(6)会費の値上げについて、広報部から会員向けへ連絡を行いましたか?(茨城会)</p> <p>(7)他士業との連携活動について(埼玉会)</p> <p>(8)出前授業、会報以外で官公署や学校等で調査士のPRを行っているか(埼玉会)</p> <p>(9)会報記事の内容について(埼玉会)</p> <p>(10)広報としてAIを活用しているか(埼玉会)</p> <p>(11)広報としてSNS、YouTubeを活用しているか(埼玉会)</p> <p>(12)広報として出前授業、寄付講座を行っているか(埼玉会)</p> <p>(13)一般向け広報活動について(栃木会)</p> <p>(14)会報について(栃木会)</p> <p>出席者 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田・太田・徳江・武藤・井上各常任理事</p>
三者(法・司・調)事務打合せ会	<p>令和7年10月2日(木) 14:00～ 法務局</p> <p>協議事項(1)法務局提出協議事項</p> <p>ア固定資産税評価証明書の無料交付の廃止に伴う課税価格の取扱いについて</p> <p>イ所有不動産記録証明制度について</p> <p>ウ登記・供託オンラインシステムで障害が発生した場合の対応について</p>

会議名	開催日時・会議内容等
三者(法・司・調)事務打合せ会	<p>エ会社法人登記の円滑な事務処理と群馬司法書士会との連携について</p> <p>その他</p> <p>(2) 司法書士会提出要望事項・協議事項</p> <p>(3) 土地家屋調査士会提出要望事項・協議事項</p> <p>出席者 [法務局] 玉井局長、佐藤次長、河合総務課長、岩崎・和田各首席登記官 細田登記情報システム管理官、宿谷不動産登記部門統括登記官 坂本総括表示登記専門官</p> <p>[調査士会] 新井会長、神山・吉野・関各副会長、横田常任理事</p> <p>[司法書士会] 中林会長、伊藤・宮前・茂原各副会長、石井常任理事</p>

## 会員へ発信した主な文書

令和7年7月28日～令和8年1月16日

年	月	日	件名	通知方法
7	7	23	第75回“社会を明るくする運動”に係るリールコンテストの周知について（お願い）	HP
	8	5	職員の夏期休暇について（お知らせ）	Fネット
		21	実務参考図書「桂林書院 登記六法 令和8年版」の推薦について	HP
		27	広報用リーフレット「土地家屋調査士」及び「境界確認のお願い」の無償配付について（通知）	郵送・HP
	9	1	「土地家屋調査士事務所形態及び報酬に関する実態調査」への協力について（お願い）	Fネット
		8	土地家屋調査士報酬額算定参考資料の修正について（通知）	HP
		11	会員名簿の作成について（照会）	Fネット
			【関東地区土地政策推進連携協議会】 令和7年度 講演会（第2回）について	Fネット・HP
	12		調査士報告方式における専門様式（モデル）の修正について（お知らせ）	HP
			土地家屋調査士調査情報保全管理システム「調査士カルテMap」の利用促進に向けたリーフレットについて（お知らせ）	HP
	16		大分会主催 令和7年度 第2回全体研修会開催について	HP
	17		連合会ウェブサイトの一時利用停止について	Fネット
	18		境界確定協議に伴う立会日時の予約申請方法について（通知）	Fネット・HP
	24		実務参考図書「登記官からみた表題部所有者不明土地 解消の実務」の推薦について	HP
	25		第58回「地図展2025さいたま」の開催について（お知らせ）	HP
	29		「土地家屋調査士事務所形態及び報酬に関する実態調査」における回答期限の延長について	Fネット
10	7		令和7年度国有農地等測量・境界確定委託事業について（お知らせ）	HP
			令和7年度第1回会員（社員）研修会の開催について（通知）	Fネット

年	月	日	件名	通知方法
7	10	9	国土交通省における土地境界データ及び不動産登記データの利活用促進「土地境界データ活用アイデア・ニーズの募集」について（お知らせ）	H P
			固定資産税評価額通知書の無料交付の廃止に関するお知らせ 渋川市、大泉町、千代田町、明和町、板倉町	H P
		17	東吾妻町における固定資産税評価額通知書の交付廃止について	H P
		20	業務上で使用するパソコン等の推奨環境への移行について（お願い）	H P
11	6		みどり市における固定資産税評価額通知書の交付廃止及び取扱い変更に関するお知らせ	H P
		7	館林市における固定資産税評価額通知書の交付廃止について	H P
	10		オンライン登記申請等に関するWebアンケートの実施について（お知らせ）	H P
			大分会主催「令和7年度 課題別研修会開催について」	H P
	17		日本加除出版株式会社「Legal Garden」について（お知らせ）	H P・郵送
	19		登記基準点の認定申請における留意点について（お願い）	H P
			「令和7年度群馬境界実務連絡協議会」の配付資料について	H P
	27		令和7年分の所得税の確定申告及び事業者のデジタル化促進に関する周知について（依頼）	H P
	28		太田市における固定資産税評価額通知書の交付廃止について	H P
			千代田町における固定資産税評価額通知書の交付廃止について	H P
12	2		登記情報システム等に障害が発生した場合における不動産登記及び商業・法人登記の受付事務の取扱いについて（お知らせ）	H P
		5	令和7年分(7年1月～12月)年計報告書の提出について	郵送
	8		戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書使用簿令和7年分(7年1月～12月)の提出について	郵送
			土地家屋調査士調査情報保全管理システム「調査士カルテMap」の利用促進に向けたリーフレットについて（お知らせ）	H P
	9		【関東地区土地政策推進連携協議会】令和7年度講演会（第2回）及び実務講習会（第2回）に係る講演動画の動画共有サービスサイト（YouTube）への掲載について（お知らせ）	H P
		10	千葉会主催「有料研修会開催のご案内」	H P
	19		研修会受講報告 東京会主催「令和7年度第1回会員研修会」に参加して思ったこと	H P
		24	令和7年4月1日における国土地理院が管理する電子基準点・三角点・水准点等の標高成果の改定が公表されたことに関する地積測量図の作成等における留意点の変更について（通知）	H P
			令和8年経済センサス－活動調査の事前周知について（依頼）	H P
			2026年テレビ年賀状の放送時間について	H P
8	1	8	第21回土地家屋調査士特別研修の実施について（受講者募集）	Fネット・H P
		13	伊勢崎市：境界確認業務運用の一部変更について	H P

## 会員動向

(令和7年7月28日～令和8年1月16日まで)

### 入会

櫻井宏之 (高崎)  
斎藤朋樹 (伊勢崎)  
鈴木英範 (館林)  
(法人) 土地家屋調査士法人鈴木事務所  
(館林)

### 退会

市川俊治 (渋川)  
木内聰 (館林)  
伊藤寛 (桐生)  
佐藤優 (吾妻)  
水出康雄 (桐生)  
石川泉 (高崎)

現在会員数 310名、他7法人

## 新入会員紹介

高崎支部

櫻井宏之

令和7年8月1日登録  
登録番号 第1116号  
会員番号 第962号



伊勢崎支部

斎藤朋樹

令和7年8月1日登録  
登録番号 第1117号  
会員番号 第963号



館林支部

鈴木英範

令和7年11月4日会変更登録  
登録番号 第1118号  
会員番号 第964号



## 報 告

### ■第1期(令和7年度)土地家屋調査士年次研修■

〈第1期〉

日 時：令和7年9月11日（木） 午後1時30分～午後4時50分

会 場：群馬土地家屋調査士会 2階 会議室

対 象 者：令和6年8月以降入会者、前回猶予申請者

研修内容：1 映像教材の視聴

- (1) 職務上請求書の取扱いについて
- (2) 土地家屋調査士の懲戒制度と懲戒処分事例

2 グループ討論

出 席 者：13名

調査士倫理を主眼においていた年次研修も今年で5年目を迎え、受講者は今年の新入会員13名で行いました。

後半のグループ討論では60分という制限の中、2班に分かれ各班長の見事な仕切りにより新入会員とは思えないほど堂々と発言され、意見交換の場ではむしろベテランを思わせる積極的な姿勢で大変頼もしく感じられました。

〔記：総務部長 横田 拓〕



## ■出前授業■

### 東和銀行

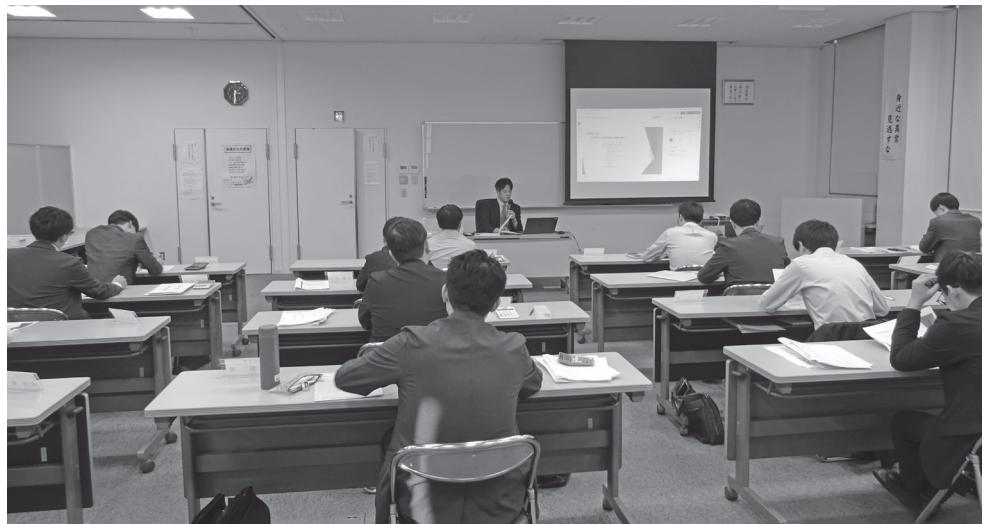
日 時：令和7年10月17日（水）午後3時

会 場：東和銀行職員研修所

対象者：東和銀行 渉外リーダー養成研修受講者 16名

令和7年10月17日（金）、やわらかな秋の日差しが辺りを照らす午後3時、高崎市岩押町に所在する東和銀行職員研修所にて出前授業を行いました。渉外リーダー養成研修会と題するこの企画は東和銀行が幹部候補の若手行員を対象に毎年行っている研修ですが、今年は群馬県内外の支店から30歳前後の16人が集まりました。また群馬土地家屋調査士会にとって4年連続の講師依頼となり、講師は武藤政尚研修部長が選任されました。テーマは昨年と同じく「金融機関と土地家屋調査士の関わり」で、前半は土地建物の表題部に関する登記について、後半は境界確定業務について講義しました。行員にとって日頃の金融業務は権利部に該当する甲区乙区の登記を主要とするものが多く、表題部に特化した今回の講義はとても新鮮だったようです。武藤部長は一級建築士の顔も持っているので、不動産登記法と建築基準法の解釈の違いを交えて、表題部の登記情報と建築確認の情報が必ずしも合致しないことにも言及しました。あつという間の90分の講義でしたが、最後に挙手があり、合筆後の地番の扱いについて質問を受ける一幕もありました。やはり受講者の関心は相当高かったようです。武藤部長はこの質問にそつなく応答して講義は終了しました。武藤部長、東和銀行での初めてのご講義お疲れ様でした。今後、希望があれば東和銀行だけでなく他の金融機関も視野に、調査士の知名度アップの広報活動を拡げていけたらと思います。

〔記：副会長 関 雅則〕



## ■令和7年度群馬境界実務連絡協議会■

日 時：令和7年10月29日（水）午後1時15分～午後4時30分

会 場：群馬県JAビル 大ホール

出席者：119名

内訳：市町村関係 24市町村 29部署 51名

県・土木事務所 7土木 8部署 14名

関東ブロック土地家屋調査士会関係者 7会 12名

関係団体 7団体 16名

本会、支部長関係等 20名 公嘱協会関係 6名



協議会内容及び講師等：

第1部：基調講演

「民法改正と相続土地国庫帰属法の概要と実施状況」

講師：法務省民事局参事官室参事官 伊賀和幸 様

講師：法務省民事局民事第二課地図企画官 井手英樹 様

第2部：パネルディスカッション

テーマ「境界立会に関する実務上の諸問題」

パネリスト 前橋地方法務局 坂本真一総括表示登記専門官

群馬弁護士会 柳澤和良 副会長

調査士会相談センター 伊藤 肇 センター長

コーディネーター 調査士会 柳澤尚幸 相談役

第1部は伊賀和幸法務省民事局参事官室参事官、井手英樹法務省民事局民事第二課地図企画官から「民法改正と相続土地国庫帰属法の概要と実施状況」と題して基調講演をいただいた。法務省の関係者の方が講演され、それを受講するという大変有意義な機会をいただいた。

第2部は「境界立会に関する実務上の諸問題」についてパネルディスカッションを行った。パネリストとして坂本真一前橋地方法務局総括表示登記専門官、柳澤和良群馬弁護士会副会長、伊藤肇境界問題相談センターぐんま運営委員長、コーディネーターは柳澤尚幸群馬土地家屋調査士会相談役が務めた。

事前に会員や市町村から寄せられた境界立会に関する質問について、それぞれの立場からの考え方を聞くことができ、非常に参考になった。

今後は会場のキャパシティと相談しながら、より多くの参加者を集めるべきとの意見もあり、実現に向けて邁進したい考えだ。

[記：業務部長 徳江正幸]



## ■令和7年度 本会・協会合同会員(社員)研修会■

日 時：令和7年11月5日（水）午後1時30分～午後5時

会 場：群馬県JAビル 大ホール

研修内容及び講師等：

①土地家屋調査士の未来展～拓こう新時代

講師：日本土地家屋調査士会連合会会長 岡田潤一郎 様

②土地家屋調査士職務倫理規程について

講師：日本土地家屋調査士会連合会総務部長 大久保秀朋 様

出席者：137名（補助者3名含む）

令和7年11月5日（水）午後1時30分よりJAビルにて研修会が行われました。

今回から「manaaable」で事前申し込みをして受講管理をすることと、私も事前に連合会のホームページより事前申し込み研修会に参加しました。マナブルの登録はいつしたか覚えていませんでしたが登録済みでした。今回は研修に参加の申し込みをしましたがめったにしないことなので、まず連合会の「会員の広場」に入る所から悪戦苦闘しやっとマナブルで本研修の申し込みが完了しました。（私はこの時点でマナブルで申し込みとオンラインで研修が受けられるのかと勘違いしていました。）

いざ当日やはりこれは対面の研修であると認識しJAビルに出かけました。受付で2次元コードをスマホに読み込み研修に参加しました。今回はマナブルで申込した人が少なかったのかかなりスムーズに受付が終了しました。研修終了時もマナブルで読み込ませるので途中退席した場合退席した時間が記録されると思いました。また全員マナブルを使用したときは2次元コードの前に行列ができるような気がします。

研修の内容は、①「土地家屋調査士の未来展～拓こう新時代」②「土地家屋調査士職務倫理規程について」と題され、岡田会長の研修では調査士会が政府に対して提言を行いこれから土地家屋調査士像を構築していることがよくわかりました。特に「土地所有者の責務を土地基本法でなく民法で規定したい」との言葉に接し会長の情熱を私は感じました。

また「調査士カルテMAP」は群馬会加入率15%のこと、私も85%のほうですが加入していない会員は「調査士カルテMAP」のメリットが理解出来ていないのでこちらのPRも群馬会で必要なのかもしれませんと感じました。大久保部長の研修では調査士法第2条（職責）の品位保持義務で「虚偽の調査測量」「依頼に応じない、正当事由のない業務の遅滞」「秘密保持違反」「他人による業務の取扱、名義貸し」「公正性、誠実性のない業務実施（説明責任）」「研修の未受講、法令の無知」「不遜な態度、飲酒運転、脱税など業務外行為」があたると学ぶことが出来、今後の業務の中で常に意識して調査士業務にあたりたいと思いました。

〔記：広報部担当理事 久保田朝夫〕



岡田会長



大久保総務部長



## ■名誉会長・顧問等会議及び本会・協会合同常任理事会■

日 時：令和 7 年 12 月 18 日（木）午後 4 時 15 分

会 場：高崎市 ホテル グランピュー高崎 3 階「AKAGI」

議 題：7 ページ「会議報告」参照

年末も押し詰まる中、本年度の会務について、名誉会長および顧問・相談役の皆様へご報告いたしました。

私自身、常任理事として日々会務に携わってまいりましたが、本会議を通じて、本年度の取組や成果をあらためて振り返る良い機会となりました。来年度に向け、引き続き尽力してまいりたいと考えております。

また、公嘱協会の報告では、群馬県との業務体制や報酬等に関する協議には、引き続き困難を伴う印象を受けました。

安定した業務の確保には、国・県・市町村との連携が不可欠であり、役員の皆様には、今後とも会務運営にご尽力いただければ幸いです。

〔記：広報事業部長 井上裕紀〕



## ■デジタルサイネージへの掲示■

前橋地方法務局本局、高崎支局、伊勢崎支局、太田支局の4局に設置されたデジタルサイネージにおいて、昨年12月上旬より現在進行形で群馬土地家屋調査士会の広報案内が掲示されています。デジタルサイネージとは昔風に言えば電光掲示板のことですが、厳密には電光掲示板よりも格段に画質の良い掲示板です。

この企画、前橋地方法務局との会合で調査士会からの要望という形で法務局側へお願ひしたことがきっかけですが、「営利目的でないならば」という条件で実現するに至りました。画像の作成は外部業者に委託せず、本会の井上裕紀広報事業部長が本局総務課との打合せから作品の仕上げまでの全工程を手がけました。全部で5枚の静止画像から構成されていて、順次一定の間隔でコマ送りされる仕組みです。業務内容を建物新築、建物取壊し、地目変更の各登記申請および土地の境界確認に絞り込んでいるので、一般のひとに調査士業務を知つてもらうのには、とてもわかりやすく有効な広報手段ではないかと思います。

掲示期間は特に決まっていませんが、上記法務局来庁の機会がありましたら、ぜひデジタルサイネージの前に足を止めて本作品を鑑賞していただけると幸いです。

〔記：副会長 関 雅則〕



本局



高崎支局



太田支局

## ■司・調合同新年賀詞交歓会■

令和8年1月16日(金) 前橋市『ロイヤルチェスター前橋』において、群馬司法書士会との共催による新年賀詞交歓会が行われ、多くのご来賓の方々にご出席をいただき、盛会に開催することができました。

〔出席者：89名〕

### 司・調合同新年賀詞交歓会次第

司会：司法書士会

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 祝 辞
 

①群馬県知事	山本 一太 様
②衆議院議員	小渕 優子 様
③衆議院議員	井野 俊郎 様
④衆議院議員	福田 達夫 様
⑤衆議院議員	中曾根康隆 様
⑥群馬県議会議長	井下 泰伸 様
⑦前 橋 市 長	小川 晶 様
- 4 来賓紹介
- 5 祝電披露
- 6 乾 杯  
(祝宴)
- 7 ペ め
- 8 閉 会



## ■四県連絡協議会■

日 時：令和7年9月28日（日）午後1時30分（1泊）

会 場：栃木県那須郡那須町「ホテルサンバレー那須」

議 題：9ページ「会議報告」参照

埼玉・茨城・群馬・栃木の役員が集まり、本年も四県連絡協議会が開催されました。今年は栃木県が当番会となり、全体の取りまとめをいただきました。

私は初めての参加でしたが、関東ブロック総会とはまた違った雰囲気で、こじんまりとしながらも分科会では核心をついた意見交換ができました。

私の担当する広報部会では、予算削減のため、会報や通達をメールやWEB等で電子化している事例が紹介されました。電子化は便利な一方、情報を見落とす懸念もあります。そのため、情報の性質ごとに切り分けながら、群馬会でも有益であれば段階的に電子化を進めていく必要性を感じました。

土地家屋調査士会の運営も時代とともに変化しており、私たちも柔軟に対応していくことが求められています。こうした場での学びを、今後の群馬土地家屋調査士会の運営に活かしてまいります。

〔記：広報事業部長 井上裕紀〕



## ■四県合同財産管理人養成講座（実践編） ■

日 時：令和 7 年 10 月 24 日（金） 午後 1 時～午後 4 時 30 分

会 場：茨城県 つくば国際会議場

対象者：埼玉会・茨城会・栃木会・群馬会（日調連主催財産管理人養成講座修了者）会員

研修内容及び講師等：

- ①『事例で学ぶ新しい財産管理制度～申立代理人の経験を踏まえて』

講師：埼玉土地家屋調査士会・埼玉弁護士会 若野 滋男 氏

- ②『所有者不明土地・建物管理制度の事例』

講師：日本土地家屋調査士会連合会副会長 杉山 浩志 氏

出席者：181 名（内、群馬会 11 名）

第1部では、若野先生より、民法改正と新しい財産管理制度について、講義を受けました。

土地家屋調査士と弁護士の両資格を持つ立場から、境界立会や所有者不明土地の管理業務について、実務に直結する視点を学ぶことができました。

第2部では、杉山先生が、実際に財産管理人として携わった事例を紹介されました。財産管理人は弁護士の選任が約 8 割を占めるものの、残り 2 割の中に土地家屋調査士が関与できる可能性があるとのことで、今後の新たな業務領域として期待が高まります。

今回の講座を通じ、財産管理制度への理解が深まり、実践的な学びとなりました。

〔記：広報事業部長 井上裕紀〕



## ■関東ブロック協議会「財務・研修・広報担当者会同」 ■

日 時：令和7年11月17日（金） 午後2時～午後5時

会 場：東京土地家屋調査士会 会議室

議 題：8ページ「会議報告」参照

関東ブロックの担当者会議（財務・研修・広報）が開催されました。9月の四県連絡協議会で話し合った内容が、関東エリア全体へと広がるような形で共有され、とても実りある会議となりました。

広報部会では、各県によって予算や活動内容が異なる点を確認しつつ、ホームページのセキュリティ対策や、最近社会的に注目が高まっている「カスタマーハラスメント」防止への周知・対策など、共通して取り組むべきテーマについて意見交換しました。今後さらに増える可能性もあることから、日頃から情報収集を続けていく必要があると感じました。

また、今回は関東11県の広報部長が集まり、そのうち3県が女性部長という構成でした。女性比率が高かったこともあり、これまでの会議とは少し違う雰囲気があったのが印象的でした。

今後も関東ブロック内で連携を深め、よりよい広報活動につなげていきたいと思います。

〔記：広報事業部長：井上裕紀〕

## ■第3回三士会ゴルフコンペ■

日 時：令和7年11月22日（土） 午前8時38分スタート

場 所：玉村ゴルフ場

参加者：31名（土地家屋調査士13名、司法書士8名、行政書士10名）

三士会によるゴルフコンペも第3回を迎えることができました。今回は土地家屋調査士が幹事会であり、眩しい銀杏黄葉のもと新井会長のはつらつとしたご発声によりインアウト総勢8組がスタートしました。

同伴して頂いた司法書士会の先生は誰よりも他の方のボールを探してくれました。とても優しかったです。行政書士の先生の指にテーピングが巻かれていました。相当練習したであろうと思われます。また、調査士会の先生は倒れ込むほどの遠心力でドライバーを振り抜いていました。驚くような飛距離でフェアウェイに白球を運びました。誰かにスコアで勝ちたいというよりも自分自身が如何に納得できるプレイができるかを追求する、各士業の皆様に侍のようなストイックさを感じました。

結果はどうあれ（士業対抗、調査士会三位）、ゴルフがますます好きになれた気がします。とても楽しい一日でした。

〔記：財務部長：太田雅仁〕



## ■令和7年度 大規模災害対策基金募金■

皆様のご協力により、今年度も募金が集まりましたので令和7年12月26日付け  
金 238,500 円を連合会へ送金いたしました。ありがとうございました。

支部名	会員数	金額 (円)
前 橋	6 5	3 2, 5 0 0
伊勢崎	4 0	4 0, 0 0 0
桐 生	2 2	2 2, 0 0 0
太 田	3 6	3 6, 0 0 0
高 崎	8 4	4 2, 0 0 0
富 岡	1 5	1 5, 0 0 0
沼 田	1 6	1 6, 0 0 0
吾 妻	1 2	1 2, 0 0 0
渋 川	1 1	1 1, 0 0 0
館 林	1 2	1 2, 0 0 0
合 計	3 1 3	2 3 8, 5 0 0

※会員数は令和7年10月1日現在

平成9年度～令和7年度

群馬会募金累計額 6,905,500円



## 支部研修活動

支部名	実施日時	会場	研修項目	出席者数
前橋	4月18日(金) 13:30～15:00	前橋商工会議所	①G空間情報センターの公表する地図XMLデータの活用事例	24名
桐生	9月26日(金) 18:00～19:00	美喜仁館桐生店	①遺言公正証書作成の留意点	13名
沼田	11月28日(金) 13:30～16:30	沼田市保健福祉センター	①業務取扱要領について	13名
高崎	12月5日(金) 14:00～16:40	高崎市総合福祉センター	①盛土規制法について ②開発許可制度について ③建築基準法の道路について ④固定資産税について	42名

## 無料登記相談会

支部名	開催日	時間	会場	相談実績
伊勢崎	10月4日(土)	10:00～16:00	JA佐波伊勢崎本所	土地家屋調査士関係3件
富岡	10月18日(土)	10:00～15:00	富岡市生涯学習センター	土地家屋調査士関係5件
沼田	11月26日(水)	13:30～16:00	沼田市保健福祉センター	土地家屋調査士関係2件

## 会員の広場

### ■東京会主催「令和7年度第1回会員研修会」に参加して思ったこと■

令和7年11月19日（水）の午後1時から約4時間、東京会の研修会に受講目的で参加しました。場所はJR中野駅南口を降り線路に沿って東方向へ5分くらい歩いたところにある「なかのZERO」という複合ホールで、方向音痴な私でも迷わずに到着することができました。研修会場の大ホールは収用能力1300人弱であるのに対し、来場者は正確に数えたわけではありませんが、500人ないし600人くらいだったかと思います。

研修会の内容は、3部構成で以下のとおりでした。

#### 第一部「土地家屋調査士に役立つコミュニケーション術」

講師：一般社団法人日本刑事技術協会代表理事 森透匡（ゆきまさ）氏

#### 第二部「3Dスキャナー（点群データ）による現況測量の実例紹介」

講師：東京土地家屋調査士会副会長 丸山晴広氏

#### 第三部「筆界認定に関する表示登記の運用について」

講師：東京法務局総括表示登記専門官 平木美輝（みてる）氏

第一部講師の森先生は、捜査二課出身の元刑事で、詐欺、横領、贈賄事件を担当していたそうで、退職した現在、マスメディアからの出演依頼が絶えず、全国講演も精力的にやられているとのことです。今回の講義内容は、人間心理の見抜き方やウソの見抜き方等、ご自身の体験で培われた知識をおもしろおかしくご披露してくださいましたが、それ以外で私が特に記憶に残った「トラブル対処法」についてお伝えしようと思います。

トラブル対処法はクレーム対応を含めて、われわれ調査士業務にも関わるものと考えます。人間は間違いを犯す動物で、それがトラブルに発展する可能性は極めて高い。ならばトラブルに遭遇した時、どう対処するかそのケアが大事、というわけで森先生曰く、以下の順序で進めていく方法が解決への近道なのだそうです。

- ①相手の話を最後まで聞き、その主旨をとらえる
- ②相手の気持ちに共感を示す
- ③話の中でこちらに非があると認める場合は丁寧に謝罪の言葉を伝える
- ④相手の話を一通り聞いた後、事実確認を行って問題の原因を探り特定する
- ⑤事実確認を終えて認識の相違がなければ解決策の提案をする

明確な解決策がなければ相手の要望に寄り添いながら妥協点を探る

①～③は同一会話の中での所作なので一括りにできると考えます。相手も話することでストレスから解放される場合があるので、このループはたいへん大事なものといえそうです。私の場合はここで満足して終了してしまうかもしれません、森先生は更に④⑤を提案してくれています。相手からすると、こちらがアフターケアまで応対することでようやく安心するのだそうで、なるほどその通りだ、と思いました。

第二部は3Dスキャナーの講義で、そのほとんどが座学でしたが、ホール内に機材を持ち込んで会場の点群データを収集、そしてこれを図化する実演講義もありました。群馬会でも某メーカーの方々を講師にお招きして3Dスキャナーの研修をしましたが、今回は東京会の会員（現副会長）である講師が実際に仕事にとりいれているということだったので、どんなお話をしてくださいのか、とても注目していました。またこの先、群馬会でも会員の半数以上が3Dスキャナーを所有する未来がやってくるのでは、とドキドキしながら

聞いていました。講師の丸山副会長のお話では、本機材で1000万円前後の費用を要しますが、この他にも関連機材やらコンピュータソフトやらのこまごましたものの出費もばかにならないそうです。やはりプレゼンテーション等の目的に限定される現況測量のため、これだけの投資をすることは個人事務所にとって、まだまだハードルが高いと思った次第です。

第三部は筆界認定の講義で、実は私、この講義が聴きたくて研修に申し込んだ経緯があります。というのもこの制度が施行されてから3年と少し経過した現在、実際に筆界認定を利用した事例はどれくらいあるのか、この制度を利用した申請に対し登記官がすんなりと受け入れてくださるのか、等々私自身いろいろと興味があったからです。筆界認定制度は令和4年4月14日、法務省民事二課第536号の依命通知により全国の地方法務局長へ発信され、これを受けて地方法務局は同年10月より各局の土地建物実地調査要領に反映させ、「法務局調査に基づく筆界認定」という括りで運用しています。平木先生の講義を聴いて思ったのは、「筆界における現地復元性」の問題は登記官と調査士の信頼関係の上に成り立っているということです。「指針で明確に教示しているわけではありませんが、備付の地積測量図が三斜法によるものであっても調査士が調査した結果、資料と整合性があり、93条報告書、調査素図等に筆界と判断した根拠が明示され、かつ法務局による現地調査においても相当とみなされるのであれば、これを筆界として認定してもいいのでは」とおっしゃっていました。そして締めくくりの一言がシビれました。月刊登記情報における田中博幸先生著の解説を引用し、隣地所有者が不明であるからといって簡単に申請を諦めてしまう調査士、すぐに筆界特定案件に回したがる登記官に対して物申す、ということで「単に『できない』でなく、この事案はどのようにしたら申請人の目的を達成できるかを調査士、登記官が共にそれぞれの立場で考えていくことが肝要」だそうです。さすがです。

最後に閉会の辞が秀逸だったので皆様にご紹介します。

登壇したのは竹内研修部長でした。開口一番、こんな話をしてくれました。この先、調査士が生き残るために何が必要かをA.I.に質問したら、A.I.の回答は「第一に実務経験を積むこと、第二に依頼人に寄り添うこと、そして第三に教養を深めること」だったそうです。

「そういうわけで、教養を深めるためにこれからも引き続き、会員研修には参加しましょう」という見事な話の着地点でした。(笑)

〔記：副会長 関雅則〕



研修会場入口外観



研修会場ホール内観

## ■14年前に造ったペーパークラフトのバイクが動き出した!■

前橋支部会員 森 秀美

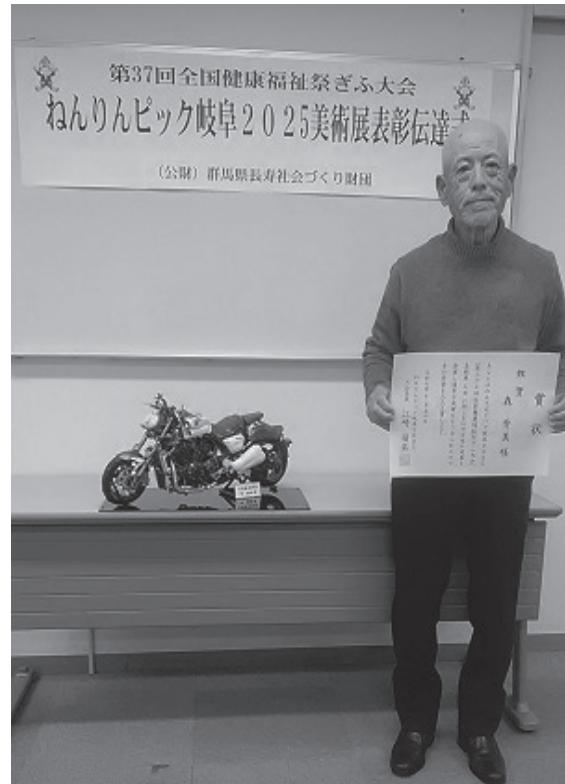
時は 2024 年の秋、前橋市永明公民館で目にした公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団主催による「第 34 回ときめき美術展」の作品募集のチラシを見て興味を持ちました。60 歳以上でアマチュアの方の参加となっていたので、早速電話をして、14 年前に造ったペーパークラフトは出品できますか?と確認したところ、快く受け入れて下さいました。

そして、2025 年 3 月に作品を出し、審査をしていたところ「あなたの作品が金賞に選ばれました!」との連絡をいただきました。思わず「おったまげました!」県内からの募集なので、私の作品は参加賞くらいだろうと思っていたのです。この募集には、日本画、洋画、彫刻、書、写真、そして私が出した工芸の 6 部門あり、部門ごとに金賞 2 名、銀賞 2 名、銅賞 2 名が選ばれました。

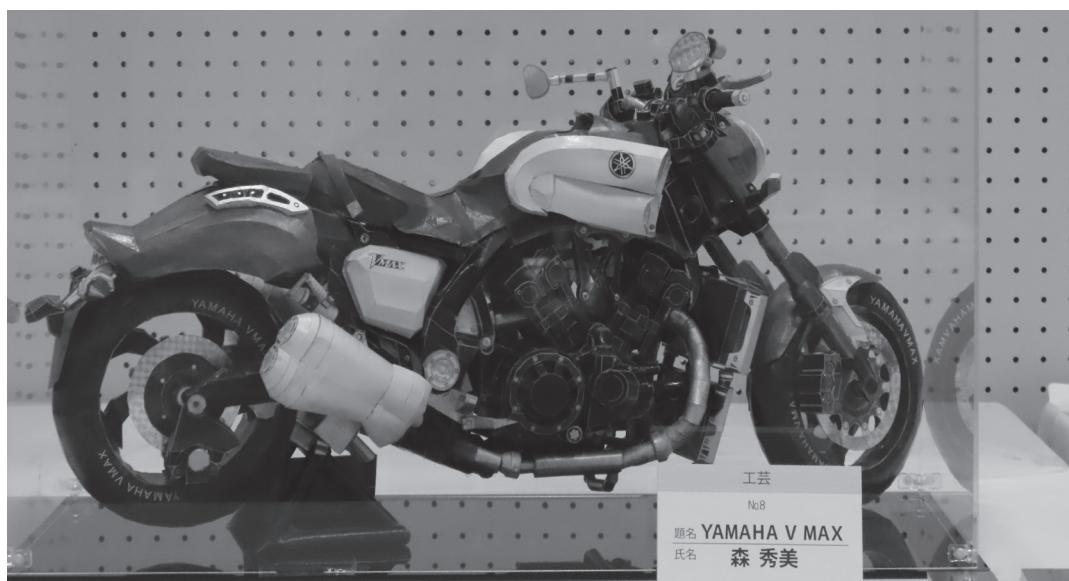
その後、金賞受賞者の 12 作品が群馬県代表として、岐阜美術館の「全国版ねんりんぴっく岐阜」に出展され、審査の結果、工芸の部で銀賞に選ばれたとの連絡をいただきました。受賞を聞いた瞬間「二度目のおったまげでした!」

群馬県選考の際、審査員の方からのメッセージがあり、「紙を使って金属の質感を的確に表現してオートバイの迫力を出した大変面白い力作です。これからも制作に挑んで頂きたいと思います。」と温かいお言葉を頂きました。そして、次は何を造ろうか?と色々と考えた結果、D 51 形蒸気機関車を造ることに決めました。2025 年 3 月に造り始め、8 月に完成し、年末に再度、出展したいと思っています。

私は 77 歳のこの年になって賞をいただけるとは夢にも思いませんでしたので、何か張り合いが出てきて、これからの人生がちょっと面白くなりそうな気がするこの頃です。



岐阜県での表彰伝達式



群馬県で金賞を受賞したバイク

## お知らせ

### ■ 令和7年度 第2回本会・協会合同会員(社員)研修会 ■

令和7年度第2回会員研修会の開催を次のとおり予定しております。  
なお、詳細につきましては、後日、ご連絡いたします。

- ・開催日 令和8年2月26日（木）午後
- ・会場 群馬県JAビル 大ホール  
前橋市亀里町1310 TEL 027-220-2111

### ■第82回(令和8年度)定時総会 ■

令和8年度の定時総会の日程が次のとおり決まりましたのでお知らせいたします。  
なお、詳細につきましては、後日、ご連絡いたします。

- ・開催日 令和8年5月21日（木）
- ・会場 群馬ロイヤルホテル

#### 発行所

〒379-2141 前橋市鶴光路町19番地2

群馬土地家屋調査士会

TEL 027-288-0033  
FAX 027-265-6810

編集 広報事業部

印刷 モリタ印刷工業株式会社

TEL 027-253-2222(代)